廃液処理室だより

No. 1 （2010年9月）

●平成 22 年度第 1 回無機廃液の回収を行いました

◆実施日：9 月 28 日（火）　　◆回収業者：（株）太陽化学

◆場所：郡元キャンパスおよび下荒田キャンパス

◆概要：

今回は６部局から約１５００リットルの無機廃液が搬出されました。

全体として、回収作業は滞りなく行うことができました。

２９日現在、回収された無機廃液（水銀系を除く）は全て順調に前処理槽に移されました。

◆搬出時の問題点：

●容器（フタ）の劣化・破損による液漏れ

実験廃液の貯留中に容器の劣化が生じていることもあります。

液漏れの有無を搬出前に必ず確認してください。

●廃液の入れすぎ

廃液は搬出する容器容積の９０％未満にとどめてください。

（２０リットルポリ容器なら１８リットルまで貯留可）

搬出時の液漏れや処理作業時の事故を招くことがあります。

●「依頼票」の記入漏れ（容量、内容物の濃度など）

依頼票には必要事項を正確に記入してください。

廃液の内容物（物質名）とそのおおよその濃度は

処理工程で重要な情報となります。

微量成分も記入してください。

特に、B（シアン系）とC（フッ素・リン酸系）分類の廃液に

重金属が混入する場合は必ず記入してください。

廃液の容量（貯留数量）は廃液の処理費用算出のための重要な情報です。

できるだけ正確に記入してください。

発行：国立大学法人鹿児島大学　廃液処理室

発行日：２０１０年９月２９日

問い合わせ先：（メール）haieki@gm.kagoshima-u.ac.jp

（電話）099-285-8126